

安藤浩毅主任研究員が黎明研究者賞を受賞



本賞は、林産学・木材学に関する研究発表の奨励と研究・技術開発の促進を目的として、日本木材学会九州支部が主催する支部大会で口頭発表・ポスター発表あるいは支部発行の木科学情報誌に掲載した論文のうちから審査し、毎年若干名の若手研究者を表彰するものです。今回、木科学情報誌に投稿した「モウソウチク由来加圧熱水抽出物の白血病細胞増殖阻害作用」が評価されました。表彰式は、去る10月5日に開催された日本木材学会九州支部大会において行われました。

本研究は、7年前の平成9年度県単独事業「バイオマス資源の成分総合利用技術の開発」に端を

発します。本研究では、100～300 程の温度でかつ加圧することによって液体状態を保っている熱水、これを受賞者の研究グループでは加圧熱水と呼んでいますが、この加圧熱水を用いて、植物資源から付加価値の高い有価物を抽出し、その有効活用法を検討してきました。その中で、特に200 程の加圧熱水で抽出されたモウソウチク由来加圧熱水抽出物（ただし、あらかじめ130 程度の加圧熱水で抽出される成分は除いているので、精油、色素成分、遊離の糖などは含まれていません）に、試験管レベルの実験であります、ある種の株化白血病細胞に対して特異的にその増殖を阻害することを見出しました。

この加圧熱水を用いた処理技術は、今後、環境を考慮した処理技術として、また得られる生成物（抽出物）は機能性（生物活性）を生かした食品素材等として有望視されています。

(社)鹿児島県工業倶楽部との意見交換会を開催

社団法人鹿児島県工業倶楽部との意見交換会を10月19日に当センターで開催しました。

工業倶楽部からは、川崎会長をはじめ、会員企業、事務局から8名の出席があり、各会員の紹介と産学官連携、異業種交流などの委員会活動や分野や地区ごとの部会活動等について紹介がありました。工業技術センター側からは現在行っている研究事業や支援について説明を行いました。

工業倶楽部側より、工業技術センターと県内企業とで行った共同研究の成功事例について質問が寄せられました。これに対し、「新規焼酎酵母による焼酎開発」、「シラスを用いたブロック材の開発」、「CD再研磨装置の開発」、「炭化脱脂綿による電波吸収材の開発」を紹介し、企業からのニーズが開発の原動力であると説明しました。このほか、工業技術センターの設備利用、手数料

等に関する質問が寄せられました。

この意見交換会では、双方から産・学・官の連携に関する要望を述べ合い、今後の連携強化を推進することが鹿児島県の工業の振興・発展に繋がることを確認しました。

